

平成 17 年度
第 2 回 材料専門部会

画像診断機器性能差の保険点数積算への反映
(資料)

欧州ビジネス協会・医療機器委員会
画像診断機器

機器性能差の保険点数の積算への反映

- 医療保険上での評価と保険収載は、医療機器の企業として技術開発の方向性並びに、開発投資の期待収益を見定める上でも、非常に重要な事項です。
- しかし、現行では部位による一律の撮影料となっており、企業の技術開発がもたらした 機器の性能差が反映されるシステムにはなっておりません。
- 結果、革新的な技術の開発に対しインセンティブが働かず、EBC の企業の場合ですが、高く評価され、高く販売できる諸外国に最新機器は流れ、日本への導入を遅らす要因のひとつとなっております。

故に、企業の不断の技術開発が、

- 臨床上の有用性がさらに高く、
- 患者により優しく、
- 使用者に使い易さを、 もたらすものであれば、

是非、次の診療報酬改定において、機器の性能差が保険点数の積算根拠に反映されると共に、その技術開発の評価として、これがインセンティブとなる保険点数積算システムの採用を要望します。

- 添付資料： 1) スライス数による CT 装置性能の差
 2) 磁場強度による MR 装置性能の差と分解能比較

CT

スライス数によるCT装置性能の差

EBC医療機器委員会/画像診断機器

検査項目/1回転あたりのスライス数	1 スライス			2-16 スライス未満			16-64 スライス未満			64 スライス以上		
検査項目	肝臓 15 cm	胸部 30 cm	冠状動脈 12 cm 心臓同期 スキャン	肝臓 15 cm	胸部 30 cm	冠状動脈 12 cm 心臓同期 スキャン	肝臓 15 cm	胸部 30 cm	冠状動脈 12 cm 心臓同期 スキャン	肝臓 15 cm	胸部 30 cm	冠状動脈 12 cm 心臓同期 スキャン
息止め時間10秒以内での精密撮像	不可	不可	不可	状況により可能	不可	不可	可能	可能	不可	可能	可能	可能

お年寄りなどほぼ全ての患者さんが息を止めれる時間;10秒と仮定

精密撮像;1 mm スライス、ピッチ 1、回転速度 0.5秒で物理的にカバーできる範囲	2 cm	4 → 8 cm	16 → 32 cm	64 → 128 cm
		8 → 16 cm	32 → 64 cm	
心臓撮像;0.75 mm スライス、0.2ピッチでカバーできる範囲			32ビーム幅Max → 32mm x 0.2 ÷ 0.5(回転) x 0.75mm x 10sec = 96mm	64ビーム幅 → 40mm x 0.2 ÷ 0.5(回転) x 0.75mm x 10sec = 120mm